

令和3年度第3回鎌ヶ谷市図書館協議会書面会議議事録

書面会議通知発送日 令和4年2月 1日

書面会議回答締切日 令和4年2月17日

1 出席者

- (1) 委員 鈴木知子委員長 濱口貞美委員 片山ふみ委員
佐藤克己委員 辻洋介委員 渡邊みどり委員
滝本はる恵委員 齊藤日出雄委員 西本則子委員
市原徹委員
- (2) 事務局 岩松生涯学習推進課長 谷口図書館長
川田主事 土肥 田中

2 議題

- (1) 令和4年度図書館運営方針（案）
(2) 令和4年度事業計画（案）

3 審議内容

- (1) 令和4年度図書館運営方針（案）について

ア 令和3年度図書館運営方針と比較し、(2) 主要事業 イ図書館改修事業を除き、同内容となっている。前年度評価の上、令和4年度独自の取組はないのか。

【回答】 令和4年度については、コロナ感染症対策を徹底し、令和3年度の事業を通年開催出来るよう取り組みます。また、今年度中に策定を予定している鎌ヶ谷市子どもの読書活動推進計画（第二次）に位置付けた新規の取組

(ブックスタート事業のフォローアップ事業、子ども司書講座等) について、具体的な実施方法の検討や関係課等との調整を行ってまいります。

イ コロナ感染症対策について、まん延防止等重点措置の適用時と緊急事態宣言発令時では、図書館における利用者等への対応は異なるか。

【回答】 コロナ感染症対策については、鎌ヶ谷市新型コロナウイルス感染症対策本部の方針にもとづき対応していますが、まん延防止等重点措置適用時と緊急事態宣言発令時において、その時々々の感染状況を考慮し開館時間の調整を行っております。清掃、消毒、換気、館内の利用制限、利用者への注意喚起等については、両措置ともに同様の取扱いとして感染症対策を徹底しております。

ウ 図書館改修事業において改修工事中は休館等の措置をとるか。

【回答】 令和4年度に予定している外壁診断調査委託については、休館措置をとることなく実施することが可能と考えております。

エ 資料2(1) 運営基本方針のアからオと主要施策のアからオを対応させ、分かりやすくしてはどうか。

【回答】 運営基本方針と主要施策の各項目を対応させた表記とします。

オ 鎌ヶ谷市子どもの読書活動推進計画は、所管に関らず、赤ちゃんから、おおむね18歳までの鎌ヶ谷市のすべての子ども達のためのものでなければならぬと考えます。私立幼稚園、県立高校は市の所管する施設ではないが、基本理念がしっかり反映させられるよう望みます。

【回答】 計画の対象年齢の18歳までの子どもすべてが読書活動に取り組めるよう計画を推進していきます。

カ 資料2(3) 主要事業の(3) エ他機関との連携について、「学校や保育園な

どと連携し・・・」とある中で、おはなし会の現場で低学年の子どもたちから「幼稚園、保育園で読んでもらった」との声も多く、低学年の子どもたちが本に親しんでいるのは、家庭もさることながら、幼稚園、保育園での読み聞かせ体験が大きいと思うので「幼稚園」との連携もするべきだと思う。

【回答】 図書館では、図書館の利用促進を図るため、市内の幼稚園に行事・イベント等のご案内をさせていただいております。今後どのようなかたちで幼稚園との更なる連携を進めていけるか検討してまいります。

キ 分館の充実について

平成25年に図書館協議会が、分館充実に関して提出した「図書館運営に関する意見書」はどのような取扱いになっているか。

【回答】 委員の皆様からいただいたご意見については、出来得るものから取組みを進めており、分館の掲示板等の工夫や実施している事業のPR等、更には、各公民館で行われている大規模なイベント（公民館まつり）の際には、分館においても読み聞かせやしおりづくり等の取組を行い分館の利用促進のPRに努めております。

ク ホームページを閲覧している人はネット予約を知っていると思うが、ネットはやるが予約は利用していないという人があるのではないか。ネット予約の周知・利用状況がどうなっているか調べてみてはどうか。紙媒体（アクティブライフ）でのネット予約のPRをしてみてもと思う。

【回答】 図書館利用者の利便性向上と利用者の増加を目指し、広報紙、ホームページ等を活用し情報周知に努めております。なお、令和3年度（1月末現在）における図書の予約に関するネットの予約比率は、約65パーセントとなっております。

ケ 図書館が実施する事業のオンライン対応について、講習会、展示、読書講演会などもオンライン併用の可能性がありそうだと思うので、継続して検討願いたい。

【回答】 令和3年度は、図書館探検隊、大人チャレンジ（ブックコーティング）、図書館見学（小学校）、読書講演会（ウィキペディアタウン）についてコロナ感染症対策を考慮しオンラインを活用した事業を行いました。オンラインを活用した事業については、これら事業の実施結果の検証も踏まえ今後も継続して取り組んでまいりたいと考えております。

コ 図書館に小学生、中学生の読書コーナーの設置を提案します。

2階の児童室を3階へ移転、2階の児童室を青少年室として、小学生、中学生対応の蔵書設置等

【回答】 図書館は、1階に一般コーナー、2階に児童コーナー、参考資料室、3階に、中央地区学習等供用施設として集会室、学習室等を配置しております。また、2階には、中高生を対象としたYA（ヤングアダルト）コーナーを設置し、これら年代を対象とした図書や情報発信のためのスペースを確保しております。各々の階にその必要性に応じて施設配置がなされておりますので、2階にある施設を3階に移すことは難しいと考えておりますが、今後も引き続き、その年代に応じたわかりやすい図書館の利便性向上に努めてまいります。

サ 資料2について、運営基本方針のアからオについて、具体的な取組について説明願いたい。

【回答】 資料2の令和4年度図書館運営方針につきましては、（1）で5つの運営方針を定め、そのことにもとづき（3）で5つの主要施策を掲げさせてい

ただいております。これらを踏まえ、資料3 令和4年度事業計画において具体的な事業の取りまとめを行っております。

シ 資料2 (3) 主要施策 エ他機関との連携について、施設からのリクエストはあるか。選書はどのようにされているか。

【回答】 各々の施設から必要とされる資料の確保については、多くの相談をいただいておりますので、その都度、選書会議の中で検討し対応をさせていただいております。

(2) 令和4年度事業計画(案)について

ア 令和3年度事業計画とほぼ同内容となっているが、前年度評価の上、令和4年度独自の取組はないか。

【回答】 令和4年度については、コロナ感染症対策を徹底し、令和3年度の事業を通年開催出来得るよう取り組みます。また、今年度中に策定を予定している鎌ヶ谷市子どもの読書活動推進計画(第二次)に位置付けた新規の取組(ブックスタート事業のフォローアップ事業、子ども司書講座等)の事業化に向けて、具体的な実施方法の検討や関係課等との調整を行ってまいります。

イ 事業計画(案)に子どもの読書活動計画における5つの新規事業(ブックスタートのフォローアップ事業、子ども司書講座、電子図書館、情報化の推進、ボランティア活動機会の提供)の取組が示されている。どの事業を実施する予定か。

【回答】 これら5つの新規事業については、事業の具体的な実施方法の検討や関係課等との調整を必要としますので、次年度以降の実施に向けて取り組ん

でまいります。

ウ 令和4年度事業計画において朗読会の事業が掲載されていない理由は？

【回答】 朗読会は、発声を伴うイベントですので、コロナ感染症対策を考慮して令和4年度は実施しないことといたしましたが、コロナ収束後において再開したいと考えております。

エ 図書学校配達の各学校への配達回数が、5回/年となっている理由は？

【回答】 図書を配達する車両の使用可能日と、一日あたりの配達箇所数を考慮し決定しています。

オ 子ども（乳幼児、児童、生徒）への事業は充実しているが、一般向け、特にシニアへの取組が不足しているように感じる。

【回答】 図書館で毎年度実施している利用者アンケートの結果等も考慮し、検討したいと考えています。

カ ブックスタート事業をフォローアップする事業は、子どもの読書環境を整えていく上で大切だと思う。事業は、健康増進課、図書館、子ども支援課、ボランティアなどの協働事業ですが、フォローアップにあたりどのように考えているか。また、フォローアップ事業として具体的な例はあげられるか。

【回答】 フォローアップする事業については、ブックスタート事業における現状の整理を行った上で、より効果を生み出せる可能性のある施策を検討するため、関係者による話し合いの場の設定をさせていただきたいと考えております。フォローアップ事業の具体的な取組については、関係者との協議の中で詰めていくことになると考えております。

キ 「創作教室チャレンジ」、「子ども読書活動推進事業」、「読み聞かせ講座」の事業費の削減理由は。

【回答】 令和4年度の予算額を、令和3年度の決算見込額に合わせたもので
事業を縮小するものではありません。

ク 図書郵送・宅配サービスの事業費の削減理由は。

【回答】 令和4年度予算額については、令和2、3年度の利用状況を勘案
した金額としております。 令和2年度の利用件数につきましては、2
件、令和3年度の利用件数につきましては、2月末現在で6件です。

ケ 図書学校配達予算額の増加理由は。

【回答】 見積額（人件費の上昇）の増加によるものです。

コ 子ども司書講座の開催場所は。電子図書館へのアクセスの具体的な方法は。
広報紙以外のPRの方法は。

【回答】 子ども司書講座については、具体的な実施方法について関係者と調
整を行っていきたいと考えています。

電子図書館については、導入に伴うメリット、デメリットの整理も踏ま
え、導入の方向性について検討していきます。

図書館では、PRの方法として、「かまがや図書館だより」、「アクティブ
ライフ」、「YA新聞」などの広報紙とともに、年報「鎌ヶ谷市の図書館」
を発行するとともに、ホームページも活用し情報発信に努めております。
また、行事、イベント等については、市内の関係施設にポスターを配布す
るなどのPRに努めております。